

1 概況

令和4年3月に本校を卒業した13期生116名(男子59名、女子57名)は、後期生活の大半がコロナ禍という状況で、「第1志望校、現役合格」をめざして一人ひとりが前進し、自分の夢や希望を実現すべくそれぞれの進路先に進みました。現役進学率は、94.8%でした。

本校は文部科学省からSGH(スーパー・グローバル・ハイスクール)に指定された平成26年度以降、グローバル教育を推進しています。また、平成29年度からは全校をあげてアクティブ・ラーニングを軸とした授業改善に取り組んできました。さらに、令和3年度からは授業の中で、ICTを積極的に活用しています。このような先進的な教育環境下で、生徒は授業や諸活動に対して探究的な態度で取り組み、将来自らが取り組む社会的な課題を発見してきました。さらに、自己の適性をふまえ、その研究・解決に取り組む場を第1志望校として設定し、その実現をめざして学力の向上に取り組んできました。

13期生は、後期生活の半分以上がコロナ禍である中でも、それぞれが前を向いて着実に前進し、心身ともに大きく成長しました。近未来の社会において、本校の教育理念である「World Citizen」として活躍するものと確信しています。

2 最難関大、医学部医学科

現役生は、東京大に2名(文三1名、工学部推薦1名)のほか、京都大に2名(理、工各1名)が進学します。男女別内訳は東京大が男子1名、女子1名。京都大はともに男子です。

医学部医学科については、東北大に1名のほか、旭川医大、弘前大、山形大、群馬大、大分大にそれぞれ1名、計6名が進学します。その男女別内訳は男子2名、女子4名です。

3 国公立大

最難関大を含む国公立大には現役生のべ55名が合格し、そのうちの45名が進学します。北は北海道から、南は大分県まで、東日本を中心に進学していきます。難関10大学では、上記東大・京大の4名のほか、東北大に5名、名古屋大に3名、一橋大、大阪大にそれぞれ1名が進学します。

4 私立大

共通テストの平均点が下がり、安全志向が強まる中で、13期生はよく健闘しました。最多進学先は早稲田大で6名が進学します。そのうち指定校推薦による進学者は3名でした。

5 過年度卒業生(浪人生)【参考】

現役時には紙一重で涙をのんだ卒業生の進路先としては、群馬大(医)、九州大(理)早稲田大(スポ科学)、中央大(法)等があげられます。

6 展望

2年目を迎えた「大学入試共通テスト」は、思考力・判断力が求められる問題が多数出題されたこともあり、難化しました。昨年度入試がセンター試験とほぼ変わらない平均点であっただけに、複数の教科での平均点の低下はこれまでにない状況を生み出し、手探りの出願でありましたが、振り返ってみると、強気で出願した生徒の方がよい結果を出せたと思います。

令和4年度からは新学習指導要領が始まります。今後は、思考力・判断力がよりいっそう求められる問題が多くなることが予想されます。本校は、グローバル教育の推進とさらなる授業改善が、大学入試改革への対策に直結するものと考えています。生徒全員の「第1志望校、現役合格」を実現するために、今後も関係の皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。

【表1】卒業生の進路別実人数(現役生のみ)

卒業期	卒業生数	大学		準大学等	就職	進学努力	現役進学率(%)
		国公立	私立				
1	124	50	53	4	0	17	86.3
2	124	51	56	4	0	13	89.5
3	119	50	48	0	0	21	82.4
4	120	49	54	3	0	14	88.3
5	124	60	52	4	0	8	93.5
6	119	61	46	3	0	9	92.4
7	122	60	53	2	0	7	94.3
8	122	44	62	5	0	11	91.0
9	123	52	55	1	0	15	87.8
10	122	57	59	0	0	6	95.1
11	122	65	43	3	0	11	91.0
12	119	54	61	0	0	4	96.6
13	116	45	61	4	0	6	94.8

【表2】13期生文理別、男女別進路先(実人数)

	卒業生数	大学		準大学等	就職	進学努力
		国公立	私立			
文系男子	24	6	17	1	0	0
文系女子	33	11	18	3	0	1
理系男子	35	18	13	0	0	4
理系女子	24	10	13	0	0	1

・準大学等…文部科学省所管外の大学校のほか、短大、専修・各種学校、海外の大学等を含む
 ・現役進学率…(卒業生数-進学努力)÷卒業生数×100